

## 小論文（前期日程）（生命環境学部社会系）

（ 注 意 事 項 ）

1. 試験開始までに表紙の注意事項をよく読んでください。
2. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
3. 試験開始の合図があったら、すぐに用紙の種類と枚数を確かめ、受験番号をすべてに記入してください。

● 表紙		1枚
● 問題用紙（その1～その2）	各1枚	計2枚
● 問題並びに答案用紙（その1～その2）	各1枚	計2枚
4. 配布された用紙の種類や枚数が異なる場合や印刷が不鮮明な場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 試験終了後、すべての用紙を回収します。
6. 問題用紙の余白や裏面を草案に使用しても構いませんが、採点の対象にはなりません。

受験番号

問題1 次の【文章】及び【データ】をふまえて、あとの問いに答えなさい。

【文章】

いま、農山村には多面的な問題が発生している。特に中山間地域を対象として、その問題状況を整理すれば、「人」「土地」「むら」という3つの空洞化と表現できる。それぞれの現象をまとめてみよう。

①人の空洞化—社会減少から自然減少へ

中山間地域における過疎化は、高度経済成長期に著しく発現した。「過疎」という新語が政府文書に登場したのは1966年であり、また最初の過疎法（過疎地域対策緊急措置法）は70年に制定されている。このように、60年代の高度経済成長期には、その現象は山村をはじめ離島や一部の漁村を揺るがしていたのである。

それから40年以上を経た現在、人口減少はテンポを緩めている。しかし、人口動態が従来とは質的に異なる状況に転化した。地域社会の「人口自然減社会化」である。80年代後半以降、過疎地域全体を通じて、人口は自然増加（出生者数より死亡者数が少ない）から自然減少（出生者数より死亡者数が多い）に転じている。さらに、それ以降、自然減少の幅は傾向的に拡大し、他方で社会減少（転入者数より転出者数が多い）は90年代に入ると沈静化して、最近では大きな変化はみられない。そのため、過疎地域における人口減少の要因は、自然減少にウェイトが移りつつあることがわかる。

人口の流出はやや沈静化したものの、人口構成の高齢化が進んだために、生まれる子どもの数が少なく、そして高齢者の死亡により地域内人口が、徐々にしかし確実に縮小していく状況こそが、現代における「人の空洞化」の実相である。

②土地の空洞化—農林地の荒廃

農林業的土地利用の空洞化も、特に80年代中頃以降、顕著である。それは、農林業の担い手不足の結果発生している耕作放棄、農地潰廃、林地荒廃などの事態を指している。

この「土地の空洞化」は、先に見た人口減少の自然減少への転化とほぼ軌を一にしている。高度経済成長期の激しい人口の社会減少（人口流出）の間も、現実には親世代が地元に残り、農林地を管理し続けることが多かったのである。担い手不足という問題は、農林業の機械化・化学化による省力化と親世代の健康長寿化のために、広範囲には顕在化することがなかった。

しかし、親世代がリタイア期に入り、人口減少も自然減少化することにより、いよいよ担い手不足が顕在化した。その結果、特に山村部で耕作放棄地の急速な増大が発生し、「中山間地域」問題という新しい表現で、国政レベルでも問題提起され始めたのである。この「中山間地域」という言葉は、中国山地などの特定の地域を指す言葉として従来からも学界では使用されていたが、「平地の周辺部から山間地に至る、まとまった平坦な耕地の少ない地域」全体を指すように、行政サイド（農林水産省）が使い始めたのは1988年のことである。

③むらの空洞化—集落機能の脆弱化

人や土地の空洞化は、「人が少なく、寂しくなった」「農地が草ボウボウで、景観が荒れている」と、視覚的にも確認できる。しかし、「むら（集落）の空洞化」はそうではない。集落機能の後退は、あたかも忍び寄るように発生するものである。地方自治体の職員にさえも、管内すみずみの意識的な情報収集をしないかぎり、なかなかその実態は見えてこない。（中略）

一般的に、集落の寄合の開催回数は、集落活動の活発さを反映している。集落が何か活動を行う時には、寄合を開催し、全戸参加で物事を決めていくからである。したがって、寄合回数が少ない集落では、活動も活発ではなく、集落の機能も停滞していることが多い。「人の空洞化」の進展した地域において、「むらの空洞化」の発生を見ることができる。そして、この延長線上にいわゆる「限界集落」が発生している。

（小田切徳美（2009）『農山村再生』岩波書店／一部改変・略）

受験番号

【データ】

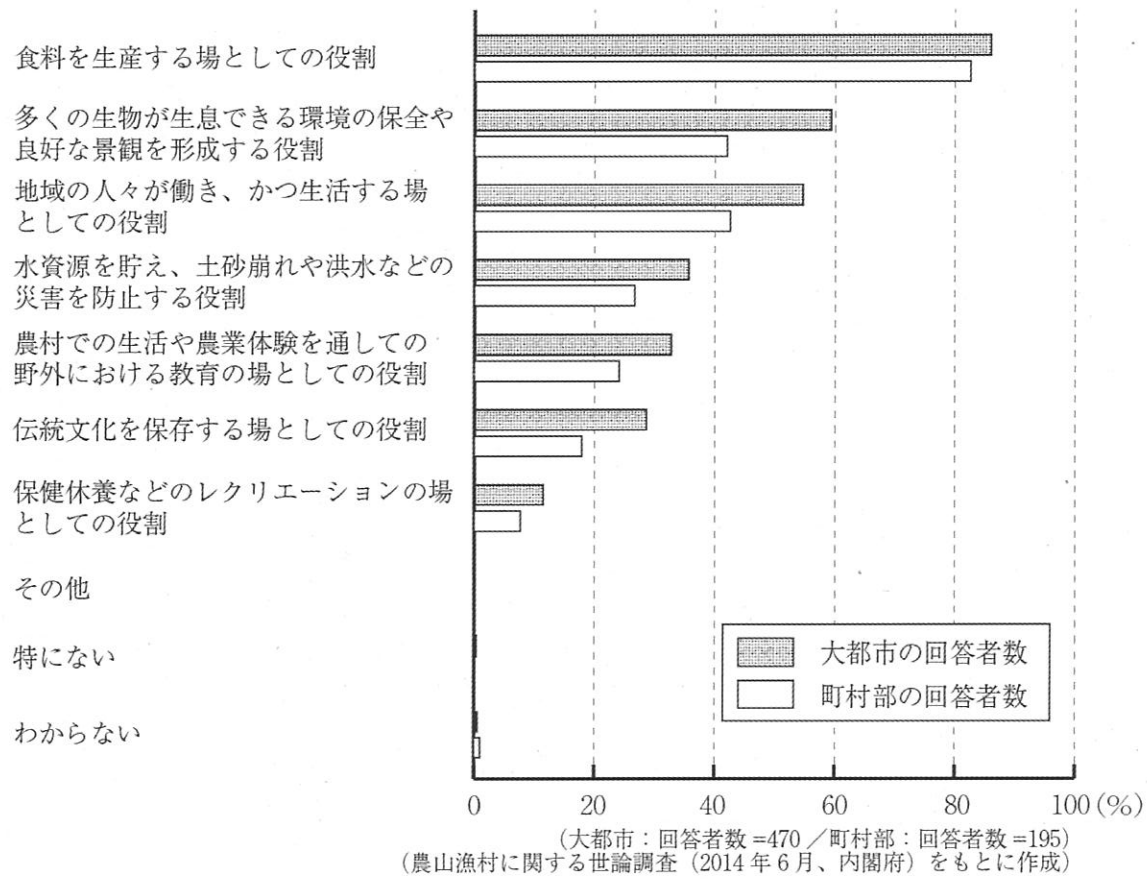


図1 農村の持つ役割に対する意識 (2014年)

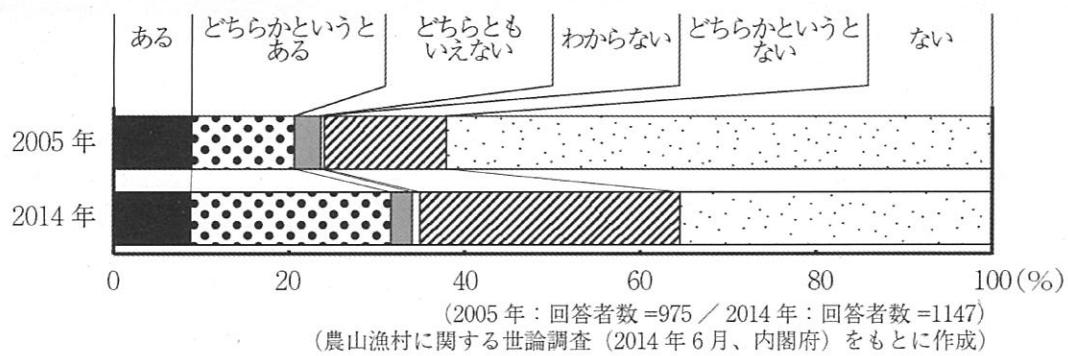


図2 都市住民の農山漁村地域への定住願望の有無 (2005年 / 2014年)

受験番号

令和3年度入学者選抜試験問題並びに答案用紙（小論文 社会系 その1） — 前期 —

問1 【文章】において筆者が指摘する「土地の空洞化」「むらの空洞化」について、それらが農山村で引き起こす問題は具体的にはどのようなことが考えられるか。筆者の指摘以外に考えられることを、都市を含めた社会全体とのかかわりなどの視点も交えつつ、それぞれ指摘しなさい。

（「土地の空洞化」）

（「むらの空洞化」）

問2 図1及び図2のデータからは、(大)都市住民による「農村」／「農山漁村地域」への意識や期待についてどのようなことが指摘できるか。その要因として考えられる社会的背景も含めて簡潔に指摘しなさい。

（図1）

（図2）

受験番号

小計

